



■ 「私達が何をしているのか、どんな団体なのか」

2014-15年度第2760地区ガバナーを務めさせて頂き今年度公共イメージコーディネーター補佐をさせて頂きます近藤と申します。宜しくお願い致します。

今年度のバリー・ラシン国際ロータリー会長はトロント国際大会で私達一人一人が変化の推進者になって下さい、私達が何をしているのかどんな団体なのか分からしめて下さい、また、持続可能というレンズを通して見る変革のエージェントになって欲しいと言われました。例会に出ることの大切さも言っておりました。私達は5つの中核的価値観をもって3つの実践項目を各クラブ、各地区が実践したことの素晴らしさをクラブ例会・各種会合・マスメディアなど色々な場所、手段を使って広めていくことが重要だと思います。世界大会ではこんなことも言っておりました。The Four-Way Test・Service Above Selfを基本とし、Cooperation・Friendship・Partnershipの3つが大切だと。これに従い責務を務めてまいりたいと思います。

ARPIIC 近藤 雄亮 第2760地区 名古屋瑞穂RC

■ 「ロータリーを知っていますか？」

ロータリアンの減少傾向に歯止めをかける為に公共イメージの向上を計る事が非常に大切だというのは存知の通りです。RIが行った少し古い資料によると一般の人に「ロータリーを知っていますか？」と尋ねた所40%は「聞いた事がない」と答え「名前だけは聞いた事がある」と答えた人も40%そして「ある程度は知っている」と答えた人が20%でした。その20%の人達も実際は間違っているか勘違いをしているという結果でした。さてその調査以降本当にロータリーの事を知っている人が増えたのでしょうか？自クラブの事で恐縮ですが私達のクラブは昨年度30歳代の会員が2名入会、今年度は28歳の会員が入会しました。しかし新会員候補の人と話してみるとロータリーの事はほとんど知らないのが現状で公共イメージ向上はもっと行う必要が有るという事を再確認しました。

ARPIIC 原 拓男 第2600地区 佐久RC

■ 広報を通じて多くの人にロータリーを知ってもらえれば、活動へのサポートも増え、世界にもっと大きな変化をもたらせるでしょう。しかし、一口に「広報」といっても、ロータリーの襟ピンを着用することから、大規模なマーケティングキャンペーンまで、さまざまです。

活動を計画する際は、その活動を広報する方法も検討しましょう。ポイントを押さえた効果的な広報を行えば、人々に活動を知ってもらい、必要なサポートも得やすくなるはずです。

ロータリーのストーリーをどのように伝えたら最も効果的であるかは地元新聞、地元テレビ局のニュース、フェイスブックやツイッターで情報をキャッチし、どんな情報が人びとの興味を引くのかを知ることが大切です。さらに、地元ジャーナリストを例会に招いてメディアとの協力方法について話してもらったり、奉仕活動の現場をジャーナリストに直接見てもらうのもよいでしょう。

リソース&参考資料

- ・クラブを成功に導くリーダーシップ: 広報委員会編
- ・ロータリーのファクトシート (情報資料)
- ・自分にできること 今日からはじめよう (パンフレット)
- ・RI視覚的イメージのための手引き
- ・End Polio Now (ポリオ撲滅活動) のウェブサイト
- ・ロータリーのロゴ/グラフィックをダウンロード
- ・ウェビナーの登録

